

始めよう！コミュニティ・スクール～地域とともにある学校を目指して

NO. 1

厚真町教育委員会では、未来を「生き抜く」子供たちの「育ち」と「学び」の充実を図るために、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の導入に向けて、「厚真町学校運営協議会設立準備委員会」を発足させました。コミュニティ・スクール（以下「C・S」）とは、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域の皆さんが参画できる仕組みです。第2回目の設立準備委員会では、文部科学省のCS推進委員（CSマイスター）で北海道大学学務部長の出口寿久氏をお迎えして、『地域とともにある学校づくり～地方創生とコミュニティ・スクール～』を演題に講演会を開催しました。CSとは、保護者や地域の住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」の置かれた学校のことで、学校運営協議会は①校長の作成する学校運営の基本方針を承認する②学校運営について、教育委員会や校長に意見を言うことができる③教職員の任用に関し、教育委員会に意見を言うことができる、の主な3つの役割を担います。出口氏からは、CSの設置についての具体的な方策と活用についての説明や、先進地の事例などを踏まえ、分かりやすく説明



をいただきました。ポイントは、学校運営に当たり PTA や地域住民の意見を聞き、それを受けて学校と地域が一体となり子供たちの豊かな成長を促す、学校・家庭・地域の協働体制づくり、『学校応援団』づくりであるということです。今後も、推進委員を中心に先進地視察や研修会への参加など、CSについての理解を深めていきますので、生涯学習だよりを通じて地域の皆様へお伝えします。

感謝の気持ちを込めて

町では、「厚真町の夢のある英語教育」を目指して、外国の方との交流の場を多く設け、生徒の英語活用を増やしてきました。

その一環として、アメリカの文化や領事館の仕事について学ぶことも含め、平成27年2月から米国領事館首席領事ジョエレン・ゴグ氏を町内2中学校に迎えての交流、2年生の宿泊体験学習では領事館訪問等を実施してきました。この8月をもって、ゴグ氏が離任されることとなり、ゴグ氏を迎えての最後の交流を行いました。生徒からは感謝の気持ちを込めた寄せ書きと花束が贈られました。



↑ 首席領事を囲んで

厚真町英語暗唱大会

8月9日、総合ケアセンター「ゆくり」を会場に厚真町英語暗唱大会が開催されました。

小学生3人と中学生11人が参加、練習した成果をもとに、とても流暢な英語で発表しました。

小学生の部と中学校1年生の部は発表会として行われました。中学校2～3年生の部は、コンテストとして実施され、上位3人が10月に実施される胆振大会への出場権を得ました。

中学校2～3年生の部門の結果

- 1位 金澤美玖（厚真中学校 3年）
- 2位 長門実空（厚南中学校 3年）
- 3位 山野下明音（厚真中学校 2年）
- 4位 森山明日香（厚南中学校 3年）

